

昭和 54 年 5 月 10 日 発行



NO. 120

54

5

主な内容

- 春の全国交通安全運動 2-3 ページ
- ことしは国際児童年 4-5 ページ
- がんばつてますVYS 6-7 ページ
- 増えた町内定着者 8 ページ
- 消防団入退団式 9 ページ
- 町の話題 10-11 ページ

発行・岐阜県川辺町 ■ 編集・川辺町役場企画室 ■ 印刷・四橋印刷KK



“難コース”に挑戦 中部中で交通教室

中部中学校で 4 月 25 日、自転車交通安全教室が開かれました。同校では、生徒の約半数が自転車通学。新一年生が不慣れな自転車通学に切り替れるこの時期を見計らって、毎年行われているものです。この日は、交通安全の映画を鑑賞したり、校庭に設けられたジグザグ、8 の字などの“難コース”に全生徒が自転車で挑戦しました。

守るうつ子供とお年寄り

一人一人が正しい交通ルールの実践を

春の全国交通安全運動が二十日まで行われています。今回は「地域ぐるみで守るうつ子供と老人」

をスローガンに①歩行者および自転車利用者、特に子供とお年寄りの交通事故防止②自動二輪車および原動機付き自転車の交通事故防止③安全運転の確保とシートベルト着用の推進――を重点に運動を進めています。私たち一人一人が、正しい交通ルールの実践を習慣づけ、事故のない明るい社会を築き上げたいのです。

歩行者・自転車

◎子供に対しては：

- ▽大人、特に母親が正しい交通ルールの手本を示し、わかりやすく指導する。
- ▽子供が外出するときは、必ず注意の一声を掛ける。
- ▽街頭では、愛の手を差し伸べて保護に努める。
- ▽夜間の外出には、家族が付き

添うか、夜光ダスキンなどを必ず着用させる。

◎自転車利用者は：

- ▽体に合った自転車の利用と、車体の点検整備（ハンドル、ブレーキ、ライトなど）を励行する。
- ▽歩道を自転車で通行するときは、歩行者の通行を妨げないようにする。
- ▽夜間、無灯火の防止と反射器の利用を徹底する。
- ▽左折する大型車に近づかない。

安全運転の確保

自動二輪・原付

◎運転者は：

- ▽体に合った車両を選び、整備を励行する。
- ▽運転者はもちろん、同乗者も乗車用ヘルメットを着用する。
- ▽正しい交通ルールを身につけて指導する。
- ▽歩道を自転車で通行するときは、歩行者の通行を妨げないようにする。
- ▽必ず保険に加入する。
- ▽原動機付き自転車では一人乗りをしない。

ドライバーは細心の注意を

目立つ横断中の事故

昨年の県下での交通事故死者は百六十九人で、三十三年以来二十六年ぶりの少ない記録になりました。

全体の四三・八%の高い率を占めています。

ところが、交通弱者である歩行者、自転車利用者の死者は七十四人で、

なかでも、交通弱者が横断中に被害に遭うことが極めて多く、ドライバーのぼんやり運転が目立つ

▽歩行者および自転車利用者の安全を守るために、違法駐車や路上放置物を追放する。

▽車で出かける家族には「シートベルトを締めて安全運転ですね」と声を掛ける。

▽早めに出発の準備をし、ゆとりを持って送り出す。

▽身体障害者、歩行者および自転車利用者の保護を徹底し、安全運転に努める。

▽スクールゾーンなどへの乗り入れを自粛する。

▽交差点では特に左右を確認し、入れを自粛する。

▽自転車利用者の安全を図る。

▽酒を飲んだ家族や来客には、絶対に車を運転させない。

▽酒類提供業者は：

▽運転者は：

▽車の運転をさせないことを徹底する。

▽運転を実行する。

▽無車検、無保険の車を運転しない。

▽過積載、過労運転、スピード違反などを誘発させるような無理な運行計画を立てない。

▽「安全な速度で走る運動」を徹底する。

▽飲酒運転を職場ぐるみで追放する。

▽公用車、私用車を問わず、職場ぐるみでシートベルトを率先して着用する。

▽「ゆとり」と「譲り合い」の運転を実行する。

▽運転者は：

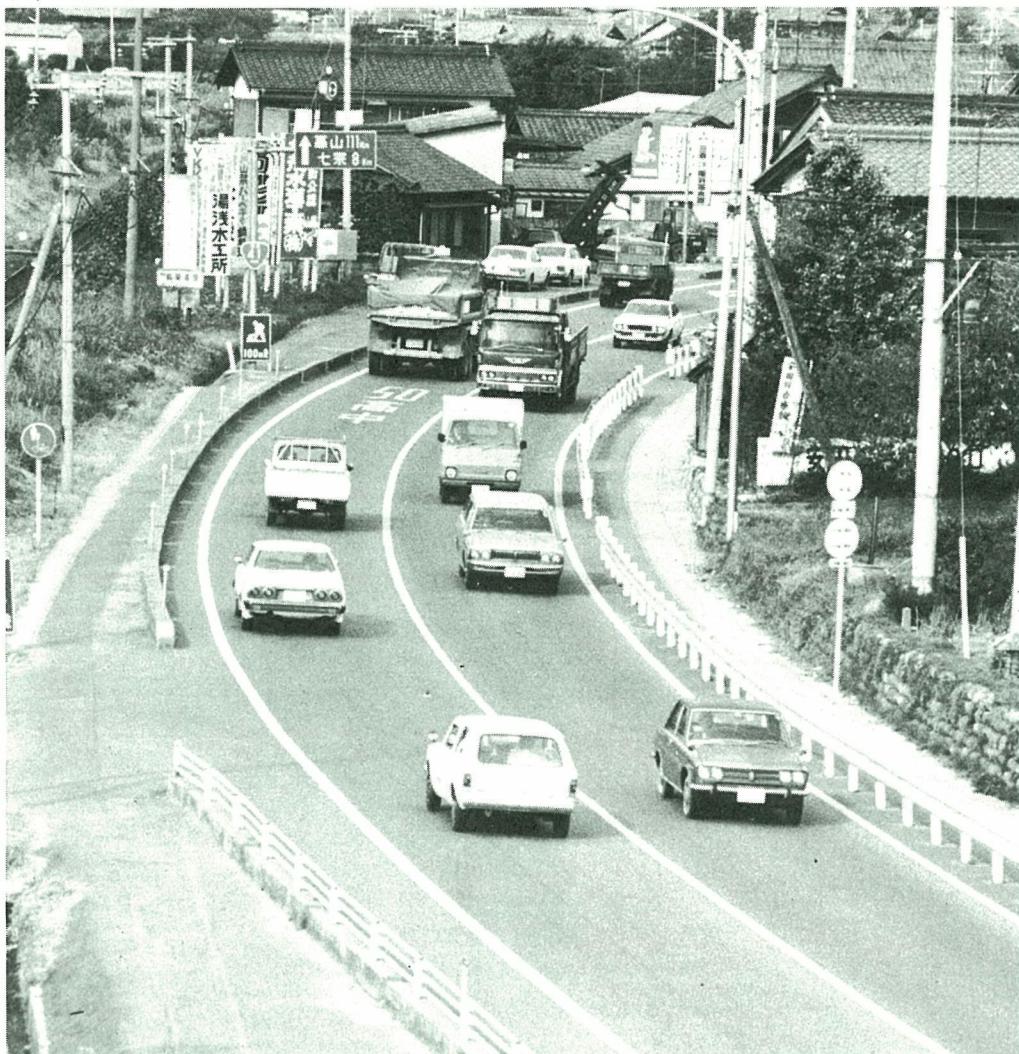
▽運転者は：

▽運転者は：

▽運転者は：

▽運転者は：

▽運転者は：



増える交通量に伴い、交通事故の危険も増大。一人一人が交通ルールを守り、事故のない明るい社会に——=中川辺地内で

ています。ドライバーの皆さん、横断歩道付近での通行方法を再確認し、ルールに従って安全運転に努めてください。

◇横断歩道、自転車横断帯では歩行者、自転車利用者が優先です。横新歩道またはその付近に歩行者、自転車利用者が明らかにいない場合は横断しようとしているときは、

たは横断しようとしているときは、手前で一時停止して、歩行者、自転車利用者の通行を妨げてはいけ

ます。停止できるように、速度を落とし方をよく見て歩行者、自転車利用者の有無に十分気をつけましょう。

◇横断歩道、自転車横断帯を歩行者、自転車利用者が横断しま

たは横断しようとしているときは、手前で一時停止して、歩行者、自転車利用者が横断してはいけない間に隔を保つて停車してください。

車利用者があわてさせたり、立ち止まらせたりしないよう、安全

手前三十秒以内の場所では、前車

を追い越すために進路を変えたり、その手前で一時停止して歩行者、

車利用者を確かめることが難しくなり、事故発生の危険が高いからです。

◇信号機などで交通整理が行われていない横断歩道、自転車横断帯の付近に停止車両があるときは、

車利用者を横断してはいけない交差点を通るときは、歩行者、自転車利用者が横断していないかよく確かめ、横断者がある場合には、一時停止か徐行して、通行を妨げないようにしてください。

県道交法が改正に

昨年十二月に道路交通法が大幅に改正されたのに伴い、このほど県道路交通法施行規則も次

自転車、荷車などの軽車両が、

自転車に六歳未満の子供一人を乗せる場合。

▽大人が、四歳未満の子供をひもなどで背負っている場合。

▽道路での禁止行為に、次の三つが加えられました。

▽交通の妨害となるように、みだりに氷雪を捨てるこ

▽前照灯は、前方十メートルまでにはつきり見える明るさのもの。

▽尾灯は、後方百メートルの距離から付けていることが確認できるもの。

▽夜間、後方百メートルの距離から自動車が照らした前照灯で容易に確認できる赤色またはだいだい色の反射器材を付けている場合

▽発煙筒、爆竹、かんしゃく玉などを、みだりに使用すること。

▽交通のひんぱんな道路に、ちらしなどをまくこと。

▽通行禁止や駐車禁止などの交

通規制から除外する車両として、消防自動車や救急自動車などが定められました。

自転車は、次のような場合を

その側方を通過して前方に出たりすることはできません。これは、前車の陰にかくれて歩行者、自転

車利用者を確かめることが難しく前車の陰にかくれて歩行者、自転

車利用者を横断してはいけないから進行してください。

◇横断歩道、自転車横断帯がな

のどの子にも 幸せ

ことしは
国際児童年



国際児童年1979

採択されてから、ちょうど二十年目に当たります。これを記念して「子供は民族の宝、世界の宝」という認識の下に、子供たちの幸せについて、みんなで考えよう——という年なのです。この機会に私たちは、子供たちの世界を直視し、その在りのままの姿を理解するとともに、新しい親子関係の在り方を見出したいのです。【カツアは国際児童年のシンボルマーク】

勉強・進学・将来

田ごろの心配ごと

子供たちは、日ごろどんなことで悩んだり、心配したりしているのでしょうか。子供たちの胸を痛める三つの大きな心配ごとは、一に「勉強」二に「進学（受験）」三に「自分の将来」となっています。

今、子供たちは何を考え、どんな将来の希望を持って勉強に、遊びに、毎日の生活を送っているのでしょうか。昨年、総理府が全国の小学五、六年生と中学生を対象に行つた世論調査「子供の意識」を行つてみました。

子供の“心の風景”を探る

総理府の全国調査から

の本を見ていて、「趣味や音楽を楽しんでいるとき」などが、男子よりも多くなっています。

男子は野球選手

希望する職業は

経営（家業を継ぐを含む）五%ただし、学年差によってかなりばらつきが目立つものもあります。

子供たちは、大人になつたらどんな職業に就きたいと思つてゐるのでしょうか。男女別にみた希望

職業ベスト・ファイブは次の通りです。

◇男子

①野球選手七%②会社員（サラリーマン）六%③商店経営（家業を継ぐを含む）六%④技術者五%⑤公務員四%

学生になると「勉強」三九%「自分の将来」二八%と、それぞれ比率が大きくなり、三つの心配ごと

六年生では二二%が「勉強」中学生では四五%が「進学（受験）」と答えていました。これらに次ぐ悩みとして、小学生は「自分の将来」（一五%）「進学（受験）」（一三%）を挙げています。これが中学生になると「勉強」三九%「自分の将来」二八%と、それぞれ比率が大きくなり、三つの心配ごと

③事務員（O.L.）、看護婦、商店店員（O.L.）、看護婦、商店店員（O.L.）が増え、代わって「事務員」（O.L.）が減ります。

ことしは国際児童年——。国連で児童権利宣言が採択されてから、ちょうど二十年目に当たります。

これを記念して「子供は民族の宝、世界の宝」という認識の下に、子供たちの幸せについて、みんなで考えよう——という年なのです。この機会に私たちは、子供たちの世界を直視し、その在りのままの姿を理解するとともに、新しい親子関係の在り方を見出したいのです。【カツアは国際児童年のシンボルマーク】

テレビを見るとき

楽しいと思う時間

男女別みると、女子の場合には「スポーツをしているとき」が男子の四七%に比べて二五%と少なくて、逆に「友達といふとき」が四七%で、男子の四一%を上回っています。そのほか女子は「マンガを読んでいるとき」「趣味や音楽を楽しんでいるとき」などが、男子よりも多くなっています。

小学生と中学生の比較では「友達といふとき」は小学生に多く「音楽や趣味を楽しんでいるとき」は中学生に多いのが目立ちます。

は、高学年になればなるほど深刻になつてゐる様子がうかがえます。

わが子への愛を世界

考えよう 子供の



元気にスポーツを楽しむ子供たち——社会と家庭が一体となって彼らを温かく見守ってやりたいものです=川辺小校庭で

自分の願う生き方

子供たちは、大人になつたらどんな暮らしをしたいと思っているのでしょうか。男女とも「趣味に合った暮らしをしたい」が最も多く、三割を占めています。次いで「金持ちでなくとも清く正しく暮

らしたい」二二%、「社会のためになるようなことをして暮らしたい」二〇%——などとなつており、「金持ちになりたい」(七%)、「有名になりたい」(五%)は、ぐっと少なくなっています。

男女別では「いい人と結婚して楽しく暮らししたい」が男子五%なとのに対し、女子はその四倍近い一五分▽勉強する 一時間三十六分▽遊んでいる 一時間五十分——となっています。そこで、「もうと時間が欲しいか」と聞いたところ、約六割の子供が「勉強する時間は欲しくないが、遊ぶ時間が欲しい」と答えています。

学校以外の時間

八%と、大きな違いを見せています。逆に「金持ちになりたい」で〇%と多くなっています。

遊ぶ時間が欲しい

は、女子が四%ですが、男子は一



他町のVYSやジュニア・リーダーズ・クラブ員と青少年団体の在り方などを話し合う町VYSの会員ら

町VYSはこのほど、関市立少年自然の家で、他の町のVYSやジュニア・リーダーズ・クラブ員らと交歓会を開催しました。VYS運動は、若者たちがその若さを生かして社会奉仕を進めようとする運動で、町に誕生したのは五十一年秋。以来、子供会の指導を中心に活動してきました。

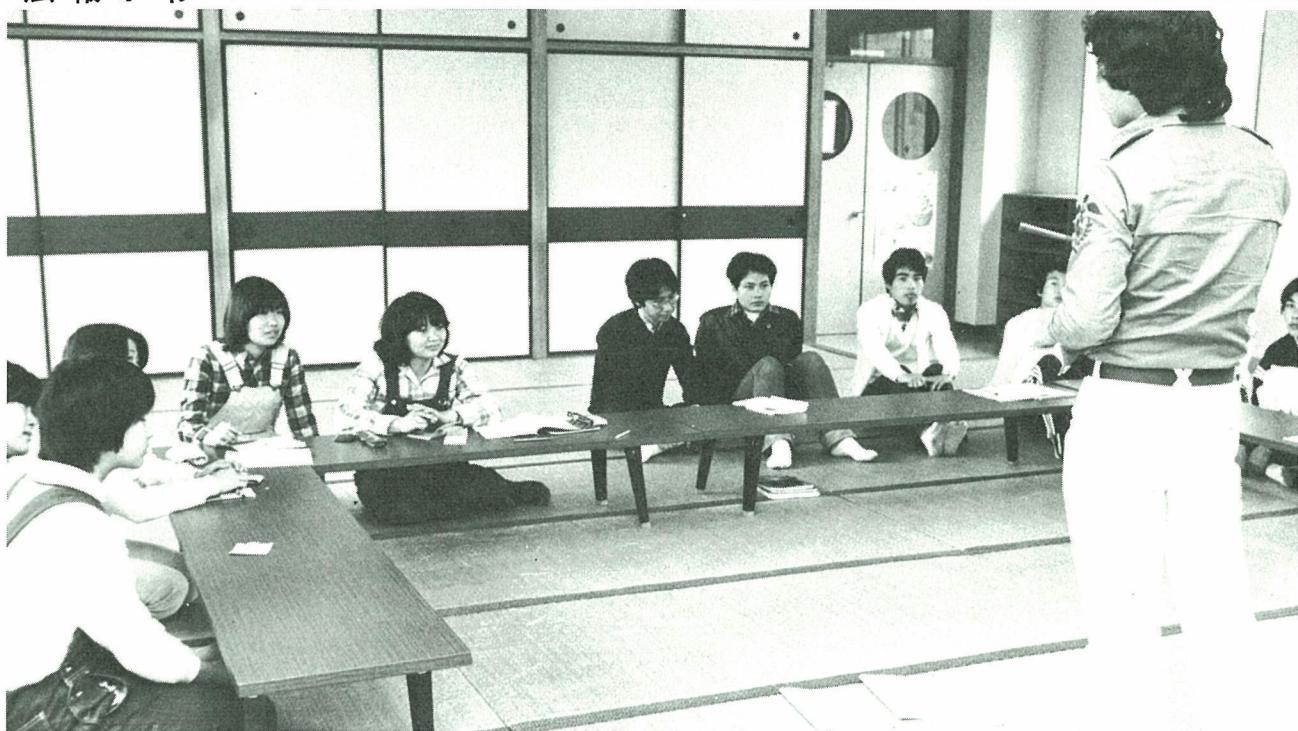
三日間にわたる交歓会は、少年団体の年少指導者として必要な知識や技能を習得し、団体活動の楽しさを他町の若者たちとの交流会を通して知ることが目的。町から十三人の会員が参加したほか、八百津町、恵那郡岩村町など六町から約四十人のVYS会員、ジュニア・リーダーズ・クラブ員らが参加。講習会、フィールド・アスレチック、フォークダンスなど、盛りだくさんの行事をこなしました。

がんばります VYS



交歓会の舞台となつた関市立少年自然の家

土岐市のシニア・リーダーズ・クラブ員を
講師に子供会の指導方法を勉強



町VYS会員	
福島	渡辺慎二（美濃加茂高・中川辺）佐伯由美子（同・中川辺）
中川辺	桜井伸貴（可児工高・同）
中島孝信	（岐阜東高・上川辺）木下智幸（美濃加茂高・中川辺）
（敬称略）	（同・下吉田）所雄治（加茂高・比久見）村瀬禎一（同・下麻生）馬嶋啓司（同・下吉田）白村晴子（同・中川辺）交告みどり（東濃実高・中川辺）加納利佳子（加茂高・同）
▽会長	加藤栄一（加茂高・同）
中川辺）▽会員	平野秀彦（同）
濃実高・石神）	樋山紀子（八百津



研修会の合間を見計らいフィールド・アスレチックで楽しいひととき

(8) 増えた町内定着者

No.120

今後ますます伸びる見通し

町ではこのほど、中部中卒業生

の町内定着および転出状況をまと

めました。それによると、二十八

一四二年までの十五年間の卒

業者総数は三千七百二十七人。そ

のうち町内に残っている人は千二

百四十二人、転出者は二千四百八

十五人で、町内定着率は三三・三

%となっています。

男子の場合、卒業者は千九百五

人。町内に残っている人は八百八

十二人、転出者は千二十三人で、

定着率は四六・三%です。この率

は三十三年度卒業生あたりから徐

々に増え始め、四十二年度卒業生

では五七・八%と過半数を占める

までになりました。

交通網整備が一因

この原因として、次のようなこ
とが考えられます。

①車社会の到来に伴い、国道の

整備、バイパスの新設など交通体

系の整備が行われ、名古屋市、岐

阜市などが通勤可能範囲となつた。

②四十五年ごろから高度経済成

長期に入り、地方都市に企業が徐

々に進出。職場が増えたことによ

り職種の選択ができるようになつ

広報かわべ

町ではこのほど、中部中卒業生

た。

③四十八年のオイルショック以

降、景気不安定による失業、企業

の倒産が増えたのと併せ、ふるさ

との見直しによるUターン現象の

現れ。

④企業の地方進出により、大都

市との所得格差が縮まつた。

⑤兄弟の数が少くなり、親元

から通勤できる職場に就職するよ

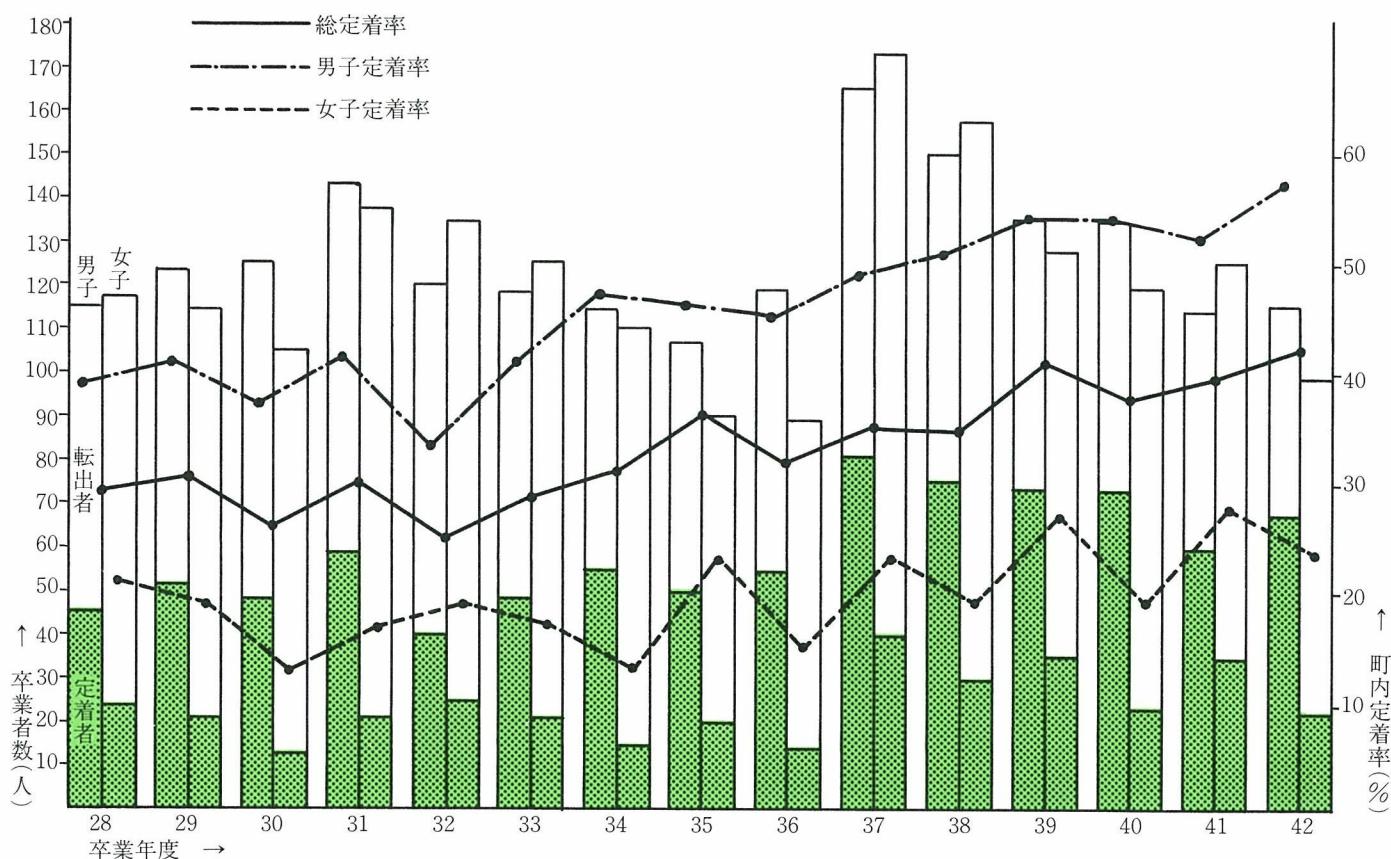
うになりました。

調査最終年度の四十二年度卒業
生の年齢は二十六、七歳で未婚者
も多く、結婚を契機に親元へ帰る
ことも考えられます。今後もこう
した傾向が強くなることが予想さ
れ、二十八年生まれ以降の若い世
代についても、町内定着率はます
ます高くなると思われます。

女子の場合も、男子の場合と同
じような原因により、増減を繰り
返しながらも徐々に定着率が増え
る傾向にあります。

町内定着率が高くなることは、
町発展のために非常に好ましい
ことです。今後もこのような傾向
を強くするため、町では魅力ある
町づくりに、より一層努力してい
く考えです。

15年間の中部中卒業生の町内定着および転出状況



雨の日も欠かさず

毎日曜日に神社の掃除

鹿塙連合福寿会（横田藤吉会長
百十人）が、毎週日曜日に同地
区春日神社の清掃奉仕作業を始め
て二年、おかげで神社はいつもき

遊びに保たれ、参拝に訪れる人や遊びに来る子供たちを喜ばせて います。

遊びに保たれ、参拝に訪れる人や遊びに来る子供たちを喜ばせて い ます。

のほうきを神社に備え付けて作業
が始められました。最初は庭掃除
だけでしたが、その後おばあさく
たちがぞうきんを縫つて、拝殿や
舞殿のぞうきん掛けもするよう
なりました

掃除が終わると、会長が一週間の行事の反省と、今後一週間の予定を報告、みんなで話し合うなど楽しい“集いの場”ともなつていています。

政彦▽西柄井 岡本穰▽下川辺
木下智司▽鹿塙 若井静香▽下
飯田 山田利嘉▽福島 野中春
夫▽比久見 高井直次▽下吉田
佐伯瀧雄▽下麻生 山口欽

赤松に珍しいコケ

鹿塩・木沢さんの山林

鹿塙の木沢一三さん(六九方の
山林にある赤松に珍しいコケが群
生、「長い間山仕事をしてきたが、
こんなコケを見るのは初めて」と、

木沢さんも首をかしげています。
問題のコケは、二ドツ程の大きさで色は茶色。赤松の幹の根元から十トドケ程の高さまで群らがって生えています。孫の勇之君(元)川辺小二年が図鑑で調べても結局わからずじまい。家族みんなが不思議がっています。

ミニニ・ニュース
和歌子（中川辺）高井つね子（
比久見）▽会計 坪内ますゑ（
上川辺）佐伯陽子（下麻生）▽
本部役員 江口定子（石神）
本美和子（西柄井）坪内春海（
下川辺）酒井きぬゑ（福島）馬

二二・二二一ス

◇行政相談委員 行政管理庁

◇行政相談委員 行政管理庁
は4月1日付で、石神の平岡委員長
市さん(六七)より電3584号を行
政相談委員として再委嘱しまし
た。役場の仕事などに対する要
望、苦情、悩みのある人は、気軽
に相談してください。

赤松に生えた珍しいコケを調べる木沢一二三さん＝鹿塩地区で

十二年四月。当時の会長だった井戸喜一さん(七八)が「運動を兼ねて日曜日ごとに神社へ参拝しよう」と提議。会員の間で、「参拝」という言葉が定着した。

作業は四月から十一月までは早朝五時半から、十二月から三月までは六時半から、神社に参拝した後で行つります。出発者は皆にて三

人 ◇ 新区長・婦人会
新役員 長、婦人会役員は次の皆さん。
(敬称略)

▽産業課（税務課）高井守▽



押し絵教室で作品製作に取り組む婦人会員ら=県営川辺漕(そう)艇場の第二艇庫会議室で

婦人会が押し絵教室を開講して三年、生徒数も六十人を数える盛況ぶりです。町の文化祭にも毎年作品を展示、「ことしは去年よりいいものを出品しよう」と「ママさん生徒」らは一生懸命腕をみがいています。

同教室は、婦人会文化講座の一つとして行われているもの。毎月第二水曜日に、県営川辺漕(そう)艇場の第二艇庫会議室で勉強が続けられています。先生は下麻生の竹腰やす子さん(主)ら三人。いずれも押し絵のキャリア十年のベテランぞろいです。

押し絵とは、一口で言えば「立体画」のこと。基になる絵をボール紙に写して切り取り、次に綿を、切り取ったボール紙に合わせ、それには布をかぶせて立体的な絵にして色紙に張ると出来上がり。秋はカキや菊、春にはひな人形など、季節に合った作品を、毎回各自が一作品ずつ仕上げます。

生徒は三十代前半から五十代まで。材料代の安さも魅力の一つ。市販のものをセットで買うと二千円以上するものでも、同講座では五、六百円と格安。「私たち主婦にとって最適の趣味。毎月の講座を楽しみに待っています」と、上

盛況の押し絵教室

//毎月の講座が楽しみよ//

婦人会が押し絵教室を開講して

三年、生徒数も六十人を数える盛況ぶりです。町の文化祭にも毎年作品を展示、「ことしは去年よりいいものを出品しよう」と「ママさん生徒」らは一生懸命腕をみがいています。

同教室は、婦人会文化講座の一

つとして行われているもの。毎月第二水曜日に、県営川辺漕(そう)艇場の第二艇庫会議室で勉強が続けられています。先生は下麻生の竹腰やす子さん(主)ら三人。いずれも押し絵のキャリア十年のベテランぞろいです。

押し絵とは、一口で言えば「立体画」のこと。基になる絵をボール紙に写して切り取り、次に綿を、切り取ったボール紙に合わせ、それには布をかぶせて立体的な絵にして色紙に張ると出来上がり。秋はカキや菊、春にはひな人形など、季節に合った作品を、毎回各自が一作品ずつ仕上げます。

生徒は三十代前半から五十代まで。材料代の安さも魅力の一つ。市販のものをセットで買うと二千円以上するものでも、同講座では五、六百円と格安。「私たち主婦にとって最適の趣味。毎月の講座を楽しみに待っています」と、上

健康のしおり

足元の健康

若葉薫る五月、すがすがしい風を受け、戸外で思い切り運動しましょう。ことは国際児童年

老化は「足」から始まります。

現代の車社会の中でとかく忘れがちになっている足。

今回は足元の健康を考えてみましょう。

足は私たちの体を支える土台です。足の健康は、当然体全体の健康を考えることになります。

少し古い話になりますが、

昨年十月にNHKテレビで「子供の体はむしばまれている」というショックキングなレポートが放送されました。たが、ご記憶の方もあると思います。

それによると最近の子供

は、手足をついて転ばない、

体温が低い、汗をかかない、

低下、骨盤の発育が悪くズボン

がずり落ちる、懸垂ができない、

時々「キー」という奇声を上げる、偏平足、肩こり、背筋力の

変化のある跳び方を加えて

のなわ跳びは、足腰の強化

とともに発育期の青少年に

とつては、体の動きの発達

にも役立ちます。なわ跳び

は、ただ一つの形だけでは

楽しみも薄く、長続きしま

せん。家族みんなで工夫して楽しく跳んでください。

そこで、一人でもそういう子供が出てこないように、家族みんなで積極的に健康づくりをしましょう。ことは国際児童年です。子供たちの精神と体の健康を守るために、康を守るための場をつくってあげましょう。

いつでも、どこでも、だれでもが行える運動になわ跳びがあります。自分自身で腕を振りながら腕を回し、足腰を使つて連続的に跳ぶなわ跳びは、ランニングと同様、最も効果的な全

身運動です。

二回跳びや交差跳びなど、変化のある跳び方を加えて

のなわ跳びは、足腰の強化

とともに発育期の青少年に

とつては、体の動きの発達

にも役立ちます。なわ跳び

は、ただ一つの形だけでは

楽しみも薄く、長続きしま

せん。家族みんなで工夫して楽しく跳んでください。

なわの長さは、使う人の身長によって決まります。片足でわの中央を踏み、その両端がわの下に届くくらいの長さが適

当です。

① 残り物の点検をしてから出かけましょう。

② 魚や野菜は“しゅん”的ものを買うように心掛けましょう。

③ あらかじめ買いたいものをメモしておき、保存の効くものは計画的に買うようにしましょう。

④ 魚や野菜は、買ったたら下処理をして適当な場所に保存します。

⑤ 見えで買ったり、つられて買つたりしないようになります。

わたしたちの作品

薬品の効能書の読みかたく
眼をこすりつつ齧嘆く夫
赤坂富美子

今日の弁当花の下にす
若井

地にとどまらず消えては生るあ

節たちし吾か手はそれすまたして
箱におさむる真珠の指輪

くらしの豆知識

買い物上手・ 5つのヒケツ

① 残り物の点検をしてから出かけましょう。

② 魚や野菜は“しゅん”的のものを買うように心掛けましょう。

③ あらかじめ買いたいのをメモしておき、保存の効くものは計

④魚や野菜は、買つたら下処理をして適当な場所に保存しましょ

⑤見えで買つたり、つられて買つたりしないようにしましょう。

人口の動き

総人口	10,483人(+34)
男	5,191人(+21)
女	5,292人(+13)
世帯数	2,552戸(+14)
転 入	82人(+10)
転 出	53人(-20)
=	4月末住民登録人口より=

度にパツと咲き終わるものには肥料は必要ありません。しかし長く咲き続けるものは、液肥を薄めて十日か二週間に一度の割で施すのが、花を大きく育てるコツです。

門宅、石神・中之番・柄井・下川辺四か村は平七郎宅であった。いずれも当時の庄屋格の家柄と推察されるが、二月十一日から八日間滞在している。そして能古山境界の現地踏査は、翌十二日から始めた。検使役人はあらかじめ提出されていた絵図により、南洞・よのき峠に入つて、鹿塩・下川辺両村の境界、さらに他の四か村の入会地へと足を運ばせた。この日の調査は、現地の実態を知る程度にとど

境界、さらに他の四か村の入会地へと足を運ばせた。この日の調査は、現地の実態を知る程度にとどめられたのであろう。いつたん中之番村へ帰り、八左衛門宅にて旗本大嶋家の吉田金左衛門に会い、

翌十三日は日西洞より川
入つて、間見峠・長尾を経
古奥山へと登つていった。

方儀・分度器・十字定本・張繩(なわ)などとなつてゐるが、これらは現在の測量器具に近いものである。【写真は検使役人

はち花か園芸店に出回ってい
ます。花色は豊富で、春浅いこ
ろの花に比べると、ひと際鮮や
かに目を引きます。用心しなけ
ればならないのは、植え替えた
あと、強い風にさらしたり、い
きなり直射日光に当てたりしな
いことです。半日ほどは陰に置
いて、徐々に慣らしていくよう
にしましよう。

廣報雜記